

報告第 7 号

株式会社夢街人とうじょうの経営状況の報告の件

株式会社夢街人とうじょうの経営状況について、地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）
第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定により報告する。

令和 6 年 6 月 3 日提出

加東市長 岩 根 正

経営状況報告書

株式会社

夢街人とうじょう

目 次

第 2 5 期 事業報告	1～10
参考資料 1	
令和 5 年度道の駅とうじょうオリジナル商品等の売上状況	11～12
広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況	13
道の駅とうじょう利用状況	14
道の駅とうじょう売上状況	15
決算報告書	16～29
貸借対照表	17～18
損益計算書	19
販売費及び一般管理費	20
株主資本等変動計算書	21
個別注記表	22
監査報告	23
参考資料 2	
比較決算報告書	24～29
第 25 期部門別損益計算書	30
営業契約書（抜粋）	31～34
部門別人件費資料	35
第 2 6 期 事業計画	36～40
収支計画	41

第 2 5 期 事 業 報 告

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日

1 事業概要

令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」へ移行となり、行動制限が解除されて人流が活発化し、訪日観光客数も順調に伸びて、インバウンド需要も回復しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢は収束の気配を見せず、米中対立の激化や中東情勢の緊迫化など、世界経済の先行きはさらに不透明感が増す一年になりました。国内に目を向けると、夏は全国各地での記録的な暑さや前年より押し寄せた物価高騰の波が令和5年度になっても止まらず、生活に欠かせないあらゆる分野の物やサービスの価格が上昇して生活防衛意識が高まり、個人消費回復の足取りは重く感じられました。

このような中で、県立社高校が夏の高校野球県大会で粘り強く戦い、劇的なサヨナラ勝ちで3季連続甲子園出場を成し遂げたことは、私たちに大きな希望と感動を与えてくれました。

道の駅とうじょうにおきましては、第一四半期の直営3部門合計の客数は前期には届きませんでしたが、道の駅全体の売上は前期比108.5%と伸長、第二四半期については、8月中旬の台風7号の影響で臨時休業があったものの、9月の残暑がプラスに働いて、上期の道の駅全体の客数は前期比101.5%、売上は前期比107.2%で、当初の予測より良い結果を出すことができました。

第三四半期はバスの立ち寄りも増加し、11月については加東市観光協会のバスツアー助成金事業の効果もあり、10月・11月の2か月は売上客数共、前期を上回ることができましたが、12月は消費者物価指数が前年より2.3%上昇し、クリスマスとお正月を前に利用者の節約志向が見られ、直営三部門の売上は前期比91.7%で厳しい状況に転じました。第四四半期の1月の客数は前年並みで推移し、2月はうるう年と暖冬の影響もあって、直営3部門の売上は前期比101.9%で、下期で唯一、前期実績を超えることができましたが、3月は一転して天候が安定しなかったことが原因で客足が鈍り、道の駅全体の3月の売上は前期比91.4%、令和5年度通期では売上が前期比101.7%、客数は前期比99.4%の結果となりました。

(1) 事業実績

日 時	事 業 内 容
令和5年4月1日(土)～ 令和5年6月30日(金)	ひょうごを旅しようキャンペーン・ワイド 前期より継続 (全国旅行支援) 期間：令和5年1月10日(火)～6月30日(金) ※4月29日(土)～5月7日(日)を除く
令和5年6月30日(金)	駅ラーメン華 厨房内排水桝の改修のため臨時休業
令和5年8月5日(土)	農産物直売所 すいか即売会
令和5年8月15日(火)	台風14号接近のため、特産館・直売所15時閉店
令和5年8月26日(土)	農産物直売所 ジャンボかぼちゃ・ハロウィンかぼちゃコンテスト
令和5年9月4日(月)	コンビニ店内床水漏れのため、排水管修繕
令和5年11月2日(木)～ 令和5年11月5日(日)	A B Cマイナビチャンピオンシップ出店
令和5年11月13日(月)	正面玄関自動ドア入れ替え及び農産物直売所、情報コーナー自動ドアタッチセンサー装置修繕
令和5年11月18日(土)	山田錦日和出店
令和5年11月19日(日)	はりちゅうの日出店
令和5年12月3日(日)	道の駅とうじょう『感謝祭』開催
令和6年1月15日(月)	特産館・直売所・情報コーナーの床ワックス掛け等 施設清掃実施

(2) 重点事項等への取組実績

重点事項等	取組実績
・当道の駅施設が利用者にとって有効に機能するように創意工夫に努め、道の駅3大機能である「休憩」・「情報発信」・「地域の連携」を体感できる、安全で活力のある道の駅の運営を目指す。	1. 休憩機能の強化 ・駐車場の区画線が経年劣化により見えにくくなったため、利用者に安全に出入りしていただけるよう、全区画の実線の新調する修繕を行った。加えて、第1駐車場満車時の対策として、第2駐車場への案内看板を製作し、繁忙期には警備員を配置し、駐車場の混雑による事故防止に留意した。 ・快適なトイレの維持管理として、24時間

- ・地場産品の展示販売、消費拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して加東市及び北播地区の経済・観光の活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。

いつでも安心して利用いただけるよう、便器やウォシュレットの故障、手洗い器の排水つまり、個室ドア不具合など発生の際には、迅速に修繕対応を行い、定期的に見回りを行い、衛生環境を悪化させないように、配慮した。

2. 情報発信機能の強化

清潔で居心地の良い情報コーナーの空間の維持を目的として、ごみの不法投棄防止や利用者のマナー向上を訴えかけるPOPを配置した。また、加東市や北播磨地区のタイムリーな観光情報を提供し、パンフレットやポスターの優先順位を明確化して、利用客を道の駅から観光施設へ誘致できるよう心掛けた。

3. 地域の連携

加東市内で採れた「山田錦」を使用した商品の販売イベントを実施して、日本酒や米粉使用商品の消費拡大をPR。さらに、加東市内を周遊していただけるよう、ラジオ関西での情報番組出演時や県内道の駅の情報誌には加東市の文化や名所、季節に応じた観光情報を発信し、加東市のPRに努めた。

- ・前期に続き、兵庫県道の駅駅長会の企画で県内道の駅を巡るスタンプラリーを実施。さらに今期は売上に繋げる仕掛けとして『兵庫道の駅隠れた逸品』のパンフレットを製作し、Instagramキャンペーンを行って、集客アップに努めた。
- ・加東市内、近隣地域のイベントに出店した際には関係者と情報交換を行い、北播地区の観光動向や産業などの経済情報を得て、新規取引先の開拓に繋げた。
- ・今期は店内防犯強化のため、8月より私服警備を実施。令和5年8月～令和6年3月迄49回巡回した結果、万引き発見数は3回であ

	った。警備会社によると、犯罪件数が少なく他の商業施設と比較して健全な施設との見解であった。来期も犯罪抑制の観点から、私服警備の巡回は継続していく。
--	--

(3) 部門別の取組実績

部門	対前年比		取組実績
	売上	入込客数	
特産館 「夢街人」	・ 対前年 97.5% ・ 対前々年 115.9%	・ 対前年 95.8% ・ 対前々年 104.9%	1. 特産館部門の新規仕入先の開拓 新規仕入業者 8 社 新規仕入先の売上金額 1,365 千円 2. 全国有数の山田錦の産地である加東市をPRするため、特A地区山田錦使用の酒類の販売を強化した結果、酒類の売上は757万で、前期比101.5%で好調であった。さらに近隣イベントへの出店をきっかけとして、米粉を原料とした菓子製造の仕入先を開拓した。 加えて、能登半島地震における道の駅復興支援として、取引先の紹介で石川県羽咋市にある『のと千里浜』のオリジナル商品の販売を行った。 当期は全国旅行支援クーポン利用額が前期の775万に対して、53万と大幅に減ったが、兵庫県道の駅スタンプラリー等の集客の効果もあり、通期売上は90,173千円、前期比97.5%まで追い上げることができた。 営業利益 令和5年度 10,402 千円 令和4年度 11,682 千円

農産物直売所 「コスモスの館」	・対前年 98.5% ・対前々年 98.5%	・対前年 97.2% ・対前々年 94.7%	1. 新品種『ひかり姫』の取組 当期は直売所売上の柱の一つである早生黒枝豆の育成不足の情報を得て、新品種『ひかり姫』の生産者の新規登録を行い、商品を確認した結果、10月の売上が前期比105.0%と伸長した。 2. 葉物類の供給強化 3年連続前期割れとなった葉物類を強化すべく、生産者への納品要請を早期に行った結果、葉物類の売上が前期比100.5%で前期実績を超えることが出来た。 3. 当期は生産者加工品が増加したため、加工品類部門の売上が前期比111.6%と大きく伸びたものの、下期のいちごの育成不足が影響し、地元生産者団体コスモス会の売上は111,000千円、前期比98.4%でわずかに前期実績には届かなかった。
コンビニエンスストア「ファミリーマート」	・対前年 103.1% ・対前々年 119.2%	・対前年 100.2% ・対前々年 112.0%	1. 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、健康志向の利用者が増えて売れ筋商品に変化が見られたため、飲料水やヘルシーなおにぎりの発注を増やして消費者の行動変化に対応した店舗運営を行った。加えて、夏の猛暑の中、レジャーやイベントの需要を取り込むべく、周辺観光施設の情報を入手、天気予報も考慮して発注精度を上げられるよう工夫した。さらに混雑時のスムーズな会計処理

			を目指して、7月よりセルフレジの現金使用を開始した。 2. 物価高による利用者の節約志向への対応として、本部施策の店舗値下げシステムを前期よりアイテムを増やして実施、同時に利益率の高い新商品を多く仕入れて目立たせる演出も行い、新鮮で飽きられない売場作りを心掛けた。また、一部商品について仕入原価が安くなるタイミングで、常時より多めの発注を行って、利益率の向上に努めた。その結果、売上増加によって廃棄額も増加したが、廃棄率は目標の4%以内に抑えることができた。 廃棄額 <table><tr><td>令和5年度</td><td>9,090 千円</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>7,896 千円</td></tr></table> 廃棄率 <table><tr><td>令和5年度</td><td>3.73%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>3.24%</td></tr></table> 3. 繁忙期における販売力アップのための取組 当店は学生スタッフが多いため、個々の勤務希望時間を聞いた上で、勤務シフト表及び店舗の重要な情報をSNSで配信して、変更等も柔軟に対応。繁忙期における業務指示は、丁寧な言葉でわかりやすく伝え、以前よりコミュニケーションを多く取るようにした結果、若者の勤務先ニーズとして重要な『時間の融通が利く』『雰囲気	令和5年度	9,090 千円	令和4年度	7,896 千円	令和5年度	3.73%	令和4年度	3.24%
令和5年度	9,090 千円										
令和4年度	7,896 千円										
令和5年度	3.73%										
令和4年度	3.24%										

			気の良い』職場環境づくりを実現することができた。
レストラン 「獅子銀」	・ 対前年 107.2% ・ 対前々年 123.4%	・ 対前年 99.2% ・ 対前々年 110.8%	1. 客数及び客単価増加のための取組 再来店に繋げられるよう、季節限定メニュー（うな重、フラッペ、牡蠣フライ御膳など）開始前には店内POPで事前告知を行った。さらにゴールデンウィーク、夏休み期間は単品メニューを増やして客単価アップを図った。 2. 固定客増加の取組 クリスマス、節分、バレンタインデーにはすべてのお客様へ粗品を進呈、さらに客数が伸びない6月と2月にはエビフライ券を配布して、集客アップを図った。その結果、6月の売上は前期比107.0%と伸長し、通期では前期比107.2%で前期実績を大幅に超えることができた。
駅ラーメン「華」	・ 対前年 113.0% ・ 対前々年 131.0%	・ 対前年 112.5% ・ 対前々年 120.4%	1. 当期も原材料価格の値上げが続いたが、価格に反映させないよう新たな仕入先を開拓し、利益率を維持できるよう努めた。 2. 厨房内の衛生環境改善のため、排水桝の改修工事を行った。加えてスムーズに料理が提供できるよう備品の配置換えを行い、業務の一部をアルバイトスタッフと共有して回転率を上げられるよう工夫した。 3. アルバイトの新規採用の際には、基本的な接客についてスタッフによるバラつきがないよう、丁寧な

			指導を行い、サービスの均一化に努めた。
アロマリラクゼーションサロン 「もみの木HOUSE」	・対前年 95.0% ・対前々年 89.3%	・対前年 93.1% ・対前々年 88.6%	1. 新規客の開拓の取組 加東市近隣地区のイベントへ積極的に出店して店舗のPRを行い、既存顧客には新規客のご紹介で10%OFFチケットプレゼントを実施して、新規顧客（前期6名・当期15名）を獲得することができた。 2. 既存顧客のフォローの取組 既存顧客はSNSで予約されることが多いため、月間の予約状況とおすすめメニューやセルフケアアドバイスを定期的に配信して、顧客とのより良い関係を維持し、来店頻度を高めることができるよう、尽力した。
トータルボディメンテナンス 「at rest アットレスト」	・対前年 89.6% ・対前々年 92.4%	・対前年 84.2% ・対前々年 82.9%	1. 当期はオーナーの諸事情により、時短営業や臨時休業日があったが、新たにロングコースを設定したことで、客単価を上げることができた。 2. 前期より販売しているフェイクグリーンアレンジメントが好評のため種類を増やし、店内で使用しているアロマスプレーなど癒しグッズの販売も始めて、売上全体の底上げを図った。

(参考) ●「道の駅 とうじょう」の周辺環境数値

項 目	R 5 年 度	R 4 年 度	比較増減
ひょうご東条 I C 出入交通量	1,591,311 台	1,582,885 台	8,426 台増
同一日当たり平均	4,348 台	4,337 台	11 台増
南山地区人口	2,169 人	2,081 人	88 人増
おもちゃ王国入場者数	337,225 人	325,551 人	11,674 人増
清水寺参拝者数	72,862 人	74,511 人	1,649 人減
インターパーク企業数	3 1 社	3 0 社	1 社増
ゴルフ場利用者数	844,865 人	854,973 人	10,108 人減

2. 会社の概況（令和 6 年 3 月 3 1 日現在）

(1) 発行済み株式の総数 5 5 0 株

(2) 株主と出資状況

株 主	当社への出資状況	
	持 株 数	持 株 比 率
加 東 市	2 7 5	5 0 . 0 %
みのり農業協同組合	1 7 5	3 1 . 8 %
加東市商工会	4 0	7 . 3 %
兵庫県釣針協同組合	2 0	3 . 6 %
東条農業者連合	2 0	3 . 6 %
コスモス会	2 0	3 . 6 %

※小数点以下を四捨五入しているため、持株比率の合計は 100% になりません。

取締役および監査役

役 職	氏 名
代表取締役社長	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
監 査 役	
監 査 役	

従業員の状況

雇用区分	氏 名
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	

パートアルバイト社員

部 署	人 数
事務所（事務）	1 人
特産館（販売）	6 人
コスモスの館（販売）	6 人
コ ン ビ ニ	2 4 人

参考資料1

令和5年度 道の駅とうじょう オリジナル商品等の売上状況

広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況

道の駅とうじょう 利用状況

決算報告書

第 25 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

株式会社 夢街人とうじょう

加東市南山1丁目5番地3

貸 借 対 照 表

令和 6年 3月31日 現在

(単位 : 円)

資 産 の 部

I 流 動 資 産

現 金 ・ 預 金	88,949,682
売 掛 金	244,602
売 掛 金 クレジット	4,497,001
商 品	7,721,944
販 売 委 託 商 品	146,334
貯 蔵 品	385,368
F C 貸 付 金	3,192,227
立 替 金	265,956
未 収 入 金	315,585
消 費 税 預 け 金	251,116
預 け 金	8,126
仮 払 金	4,326
貸 倒 引 当 金	△22,514

流 動 資 産 合 計

105,959,753

II 固 定 資 産

1 有 形 固 定 資 産

建 物	23,313,443
建 物 附 属 設 備	4,910,335
機 械 装 置	393,218
車 両 運 搬 具	1
什 器 備 品	1,943,327

有 形 固 定 資 産 合 計

30,560,324

2 無 形 固 定 資 産

繰 延 資 産	10,796,380
ソ フ ト ウ ェ ア	954,000

無 形 固 定 資 産 合 計

11,750,380

3 投 資 そ の 他 の 資 産

出 資 金	8,600
保 証 金	20,000

投 資 そ の 他 の 資 産 合 計

28,600

固 定 資 産 合 計

42,339,304

資 産 合 計

148,299,057

負 債 の 部

I 流 動 負 債

買 掛 金	15,896,391
未 払 金	10,866,692
預 り 金	1,206,600
従 業 員 預 り 金	690
源 泉 預 り 金	170,085
住 民 預 り 金	244,600
未 払 法 人 税 等	350,100

流動負債合計

28,735,158

II 固 定 負 債

預 り 保 証 金	7,490,000
-----------	-----------

固定負債合計

7,490,000

負債合計

36,225,158

純 資 産 の 部

I 株 主 資 本

1 資 本 金	30,000,000
---------	------------

30,000,000

2 利 益 剰 余 金

(1) 利 益 準 備 金	5,060,000
---------------	-----------

(2) そ の 他 利 益 剰 余 金

別 途 積 立 金	5,000,000
-----------	-----------

繰 越 利 益 剰 余 金	72,013,899
---------------	------------

う ち 当 期 純 利 益	(6,469,941)
---------------	---------------

利益剰余金合計

82,073,899

株主資本合計

112,073,899

純 資 産 合 計

112,073,899

負債・純資産合計

148,299,057

損 益 計 算 書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

I 純 売 上 高		
商 品 売 上 高	26,874,179	
獅 子 銀 売 上 高	4,800,000	
コソビニ売上高	250,369,376	
駅 ラ ー メ ン 華	1,920,000	
も み の 木 売 上	720,000	
受取手数料特産館	18,258,098	
ア ッ ト レ ス ト	720,000	
公衆電話自販機売上	1,524,107	
営 業 収 入	3,336,175	
管 理 委 託 収 入	5,060,000	
直 売 所 売 上	25,804,872	
受取手数料直売所	<u>20,724,258</u>	360,111,065
II 売 上 原 価		
期 首 棚 卸 高	6,758,054	
商 品 仕 入 高	38,832,469	
コソビニ仕入	180,572,932	
商 品 廃 棄 損	△9,415,687	
管 理 委 託 費	<u>5,062,065</u>	
合 計	221,809,833	
期 末 棚 卸 高	<u>7,721,944</u>	<u>214,087,889</u>
売 上 総 利 益		146,023,176
III 販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費	<u>141,000,878</u>	<u>141,000,878</u>
営 業 利 益		5,022,298
IV 営 業 外 収 益		
受 取 利 息	63,107	
貸倒引当金戻入	27,819	
雑 収 入	<u>2,982,924</u>	<u>3,073,850</u>
V 営 業 外 費 用		
雑 損 失	<u>28,374</u>	<u>28,374</u>
経 常 利 益		<u>8,067,774</u>
税引前当期純利益		8,067,774
法人税等充当額		<u>1,597,833</u>
当 期 純 利 益		<u><u>6,469,941</u></u>

販売費及び一般管理費

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

役員報酬	336,000	
給料手当	42,773,106	
賞与	6,027,030	
法定福利費	8,137,488	
福利厚生費	1,822,392	
ハートフルバイト給与	16,668,194	
広告宣伝費	3,338,762	
運賃	261,392	
容器包装費	566,756	
リース料	341,018	
本部フイ	19,763,121	
水道光熱費	5,435,598	
車両関連費	204,466	
事務用消耗品費	159,358	
消耗品費	2,267,484	
支払保険料	408,700	
修繕費	3,030,663	
租税公課	263,200	
減価償却費	5,895,110	
接待交際費	114,048	
旅費交通費	1,228,961	
通信費	473,500	
支払手数料	2,924,802	
会議費	103,340	
諸会費	214,070	
貸倒引当金繰入	22,514	
保守管理費	3,615,011	
不良品廃棄	9,090,150	
家賃	1,200,000	
雑費	4,314,644	
合 計		141,000,878
		141,000,878

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000
利益剰余金		
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	5,060,000
その他利益剰余金		
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	65,543,958
	当期変動額 当期純利益	6,469,941
	当期末残高	72,013,899
利益剰余金合計	当期首残高	75,603,958
	当期変動額	6,469,941
	当期末残高	82,073,899
株主資本合計	当期首残高	105,603,958
	当期変動額	6,469,941
	当期末残高	112,073,899
純資産合計	当期首残高	105,603,958
	当期変動額	6,469,941
	当期末残高	112,073,899

個 別 注 記 表

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - ① たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品・貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産
定率法
(平成10年4月1日以降に取得した建物・平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物は定額法)
 - ② 無形固定資産
定額法
 - ③ 繰延資産
定額法
 - (3) 収益及び費用の計上基準
収益・・・・・・・・実現主義
費用・・・・・・・・発生主義
 - (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。
3. 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項
発行済株式
普通株式（発行済株式）
当期末株式数（発行済普通株式）550株
4. その他の注記

監 査 報 告

私監査役は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第25期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和 6年5月21日

監 査 役

監 査 役

報 告 書

前記の通りご報告申し上げます。

令和 6年5月21日

株式会社夢街人とうじょう

代表取締役

比 較 決 算 報 告 書

第 25 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

株式会社 夢街人とうじょう

加東市南山1丁目5番地3

比較貸借対照表

令和 6年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比
				%
【流 動 資 産】	【 105,959,753】	【 98,400,037】	【 7,559,716】	【 107.6】
現 金 ・ 預 金	88,949,682	83,188,224	5,761,458	106.9
売 掛 金	244,602	287,936	△43,334	84.9
売掛金クレジット	4,497,001	2,089,195	2,407,806	215.2
商 品	7,721,944	6,758,054	963,890	114.2
販売委託商品	146,334	78,393	67,941	186.6
貯 蔵 品	385,368	382,831	2,537	100.6
F C 貸 付 金	3,192,227	4,056,882	△864,655	78.6
立 替 金	265,956	1,018,062	△752,106	26.1
未 収 入 金	315,585	291,792	23,793	108.1
消費税預け金	251,116	264,035	△12,919	95.1
預 け 金	8,126	8,126	0	100.0
仮 払 金	4,326	4,326	0	100.0
貸倒引当金	△22,514	△27,819	5,305	80.9
【固 定 資 産】	【 42,339,304】	【 47,154,414】	【 △4,815,110】	【 89.7】
[有形固定資産]	[30,560,324]	[35,640,300]	[△5,079,976]	[85.7]
建 物	23,313,443	25,218,984	△1,905,541	92.4
建物附属設備	4,910,335	5,422,797	△512,462	90.5
機 械 装 置	393,218	1,815,824	△1,422,606	21.6
車両運搬具	1	1	0	100.0
什 器 備 品	1,943,327	3,182,694	△1,239,367	61.0
[無形固定資産]	[11,750,380]	[11,485,514]	[264,866]	[102.3]
繰延資産	10,796,380	11,485,510	△689,130	94.0
ソフトウェア	954,000	4	953,996	
[投資その他の資産]	[28,600]	[28,600]	[0]	[100.0]
出 資 金	8,600	8,600	0	100.0
保 証 金	20,000	20,000	0	100.0
資 産 合 計	148,299,057	145,554,451	2,744,606	101.8
【流 動 負 債】	【 28,735,158】	【 31,800,493】	【 △3,065,335】	【 90.3】
買 掛 金	15,896,391	18,575,633	△2,679,242	85.5
未 払 金	10,866,692	9,270,940	1,595,752	117.2
預 り 金	1,206,600	1,080,000	126,600	111.7
従業員預り金	690		690	
源泉預り金	170,085	154,120	15,965	110.3
住民預り金	244,600	224,200	20,400	109.0
未払法人税等	350,100	2,495,600	△2,145,500	14.0

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比
				%
【固 定 負 債】	【 7,490,000】	【 7,490,000】	【 0】	【 100.0】
預 り 保 証 金	7,490,000	7,490,000	0	100.0
負 債 合 計	36,225,158	39,290,493	△3,065,335	92.1
【株 主 資 本】	【 112,073,899】	【 106,263,958】	【 5,809,941】	【 105.4】
資 本 金	30,000,000	30,000,000	0	100.0
[利 益 剰 余 金]	[82,073,899]	[76,263,958]	[5,809,941]	[107.6]
利 益 準 備 金	5,060,000	5,060,000	0	100.0
(その他利益剰余金)	(77,013,899)	(71,203,958)	(5,809,941)	(108.1)
別 途 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	100.0
繰越利益剰余金	72,013,899	66,203,958	5,809,941	108.7
(うち当期純利益)	(6,469,941)	(11,685,282)	(△5,215,341)	(55.3)
純 資 産 合 計	112,073,899	106,263,958	5,809,941	105.4
負債・純資産合計	148,299,057	145,554,451	2,744,606	101.8

比較損益計算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
【純 売 上 高】	【 360,111,065】	【 506,247,009】	【 △146,135,944】	【 71.1】
商 品 売 上 高	26,874,179	92,437,539	△65,563,360	29.0
獅子銀売上高	4,800,000	4,800,000	0	100.0
コンビニ売上高	250,369,376	243,824,633	6,544,743	102.6
駅ラーメン華	1,920,000	1,920,000	0	100.0
もみの木売上	720,000	720,000	0	100.0
受取手数料特産館	18,258,098		18,258,098	
アットレスト	720,000	720,000	0	100.0
公衆電話自販機売上	1,524,107	1,613,257	△89,150	94.4
営 業 収 入	3,336,175	2,207,799	1,128,376	151.1
管 理 委 託 収 入	5,060,000	4,600,000	460,000	110.0
直 売 所 売 上	25,804,872	153,403,781	△127,598,909	16.8
受取手数料直売所	20,724,258		20,724,258	
【売 上 原 価】	【 214,087,889】	【 362,856,794】	【 △148,768,905】	【 59.0】
期 首 棚 卸 高	6,758,054	6,363,466	394,588	106.2
商 品 仕 入 高	38,832,469	191,110,790	△152,278,321	20.3
コンビニ仕入	180,572,932	175,544,233	5,028,699	102.8
商 品 廃 棄 損	△9,415,687	△8,009,509	△1,406,178	117.5
管 理 委 託 費	5,062,065	4,605,868	456,197	109.9
期 末 棚 卸 高	7,721,944	6,758,054	963,890	114.2
売 上 総 利 益	146,023,176	143,390,215	2,632,961	101.8
【販売費及び一般管理費】	【 141,000,878】	【 133,982,749】	【 7,018,129】	【 105.2】
営 業 利 益	5,022,298	9,407,466	△4,385,168	53.3
【営 業 外 収 益】	【 3,073,850】	【 4,840,557】	【 △1,766,707】	【 63.5】
受 取 利 息	63,107	60,264	2,843	104.7
貸倒引当金戻入	27,819	30,570	△2,751	91.0
雑 収 入	2,982,924	4,749,723	△1,766,799	62.8
【営 業 外 費 用】	【 28,374】	【 66,995】	【 △38,621】	【 42.3】
雑 損 失	28,374	66,995	△38,621	42.3
経 常 利 益	8,067,774	14,181,028	△6,113,254	56.8
税引前当期純利益	8,067,774	14,181,028	△6,113,254	56.8
法人税等充当額	1,597,833	2,495,746	△897,913	64.0
当 期 純 利 益	6,469,941	11,685,282	△5,215,341	55.3

比較販売費及び一般管理費

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
役 員 報 酬	336,000	336,000	0	100.0
給 料 手 当	42,773,106	39,842,094	2,931,012	107.3
賞 与	6,027,030	5,311,220	715,810	113.4
法 定 福 利 費	8,137,488	7,075,467	1,062,021	115.0
福 利 厚 生 費	1,822,392	1,548,075	274,317	117.7
ハートフルバイト給与	16,668,194	13,986,605	2,681,589	119.1
広 告 宣 伝 費	3,338,762	3,395,668	△56,906	98.3
運 賃	261,392	412,492	△151,100	63.3
容 器 包 装 費	566,756	659,846	△93,090	85.8
リ ー ス 料	341,018	367,392	△26,374	92.8
本 部 フ ィ ー	19,763,121	18,343,676	1,419,445	107.7
水 道 光 熱 費	5,435,598	7,374,575	△1,938,977	73.7
車 両 関 連 費	204,466	154,886	49,580	132.0
事務用消耗品費	159,358	156,599	2,759	101.7
消 耗 品 費	2,267,484	2,530,794	△263,310	89.5
支 払 保 険 料	408,700	387,720	20,980	105.4
修 繕 費	3,030,663	3,864,620	△833,957	78.4
租 税 公 課	263,200	314,725	△51,525	83.6
減 価 償 却 費	5,895,110	7,443,989	△1,548,879	79.1
接 待 交 際 費	114,048	129,449	△15,401	88.1
旅 費 交 通 費	1,228,961	1,224,627	4,334	100.3
通 信 費	473,500	547,665	△74,165	86.4
支 払 手 数 料	2,924,802	2,803,304	121,498	104.3
会 議 費	103,340	26,558	76,782	389.1
諸 会 費	214,070	204,140	9,930	104.8
貸倒引当金繰入	22,514	27,819	△5,305	80.9
保 守 管 理 費	3,615,011	2,441,615	1,173,396	148.0
不 良 品 廃 棄	9,090,150	7,895,836	1,194,314	115.1
家 賃	1,200,000	1,200,000	0	100.0
雑 費	4,314,644	3,975,293	339,351	108.5
合 計	141,000,878	133,982,749	7,018,129	105.2

株主資本等変動計算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

		当 期	前 期
株主資本			
資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000	30,000,000
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	5,060,000	5,060,000
その他利益剰余金			
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000	5,000,000
繰越利益剰余金			
	当期首残高	65,543,958	54,518,676
	当期変動額 当期純利益	6,469,941	11,685,282
	当期末残高	72,013,899	66,203,958
利益剰余金合計			
	当期首残高	75,603,958	64,578,676
	当期変動額	6,469,941	11,685,282
	当期末残高	82,073,899	76,263,958
株主資本合計			
	当期首残高	105,603,958	94,578,676
	当期変動額	6,469,941	11,685,282
	当期末残高	112,073,899	106,263,958
純資産合計			
	当期首残高	105,603,958	94,578,676
	当期変動額	6,469,941	11,685,282
	当期末残高	112,073,899	106,263,958

営業契約書（抜粋）

○部門別人件費資料

第26期 事業計画

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

1. 重点事項等

- (1) 当道の駅施設が利用者にとって有効に機能する様に創意工夫に努め、安全で活力のある道の駅の運営を目指す。
- (2) 施設の設置目的である地場産品の展示販売による消費の拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、地域活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。

2. 今年度基本方針

<道の駅とうじょう>

- (1) 道の駅連絡会との連携を強化する。
兵庫県道の駅駅長会、全国道の駅連絡会のネットワークを通して他の道の駅との連携を強化し、新商品の開発や施設維持管理に関する情報等を共有し、安全で楽しい道の駅の運営に活かす。
- (2) SNS等で旬の農産物や新商品、地元の情報を紹介して加東市・北播磨地区の特産品をアピールし、来店を促すよう働きかける。
- (3) 年に一度、利用者の多い3月に施設状況や商品構成、接客等に関してアンケートを実施し、利用者の満足度を把握し健全な運営に活かす。
- (4) 従業員がお互いに協力し合い、道の駅の従業員として誇りを持って職務を遂行できるよう職場環境を整え、秩序の保持に努める。

<特産館・夢街人>

① 地域産品の訴求

酒米の王様山田錦を使用した酒類・菓子類の販売の強化を図る。

② 自家需要商品の充実

米粉使用商品をはじめ、季節やイベントを意識した菓子類・食品を増やしてお土産以外の自家需要商品の売上向上に努める。

③ 兵庫県下を中心に全国の有名産地の名産品の品揃えの充実

北播磨地区の特産品、兵庫県下の特産品に関連した商品を増やす。(もち麦・桃・いちご)

④ 営業日及び季節による営業時間の変更

毎月第2月曜日を定休日とする。(年末年始を含む)
人件費、営業効率面を考慮し、閉店時間を変更する。

- 4月～6月、9月・10月・3月 平日は午後6時30分、土日祝日は午後7時
- 7月・8月 全日午後7時
- 11月・12月 全日午後6時30分
- 1月・2月 全日午後6時

<農産物直売所・コスモスの館> ※営業日、営業時間は特産館と同じ

- ① 野菜の売上増加を目指すべく、春の筍、秋の黒枝豆、冬の東条ネギの3品目に加え、新たにとうもろこしも強化して野菜全体の売上増加を図る。
- ② 新たに有機野菜コーナーを設置し、健康志向のお客様の取り込みを図るとともに新規分野への開拓を行う。
- ③ 長らく休止中であった新規農産物生産者の登録を再開し、商品の品質改善とボリューム増加を図る。
- ④ 特産館と同様、営業日及び季節による営業時間の変更を実施する。

<コンビニエンスストア・ファミリーマート>

- ① 収益率の向上と廃棄率抑制に努める。
 - ・ゴールデンウィーク・お盆・周辺観光施設のイベント時の繁忙期、秋の行楽シーズン等来店客層に合わせた品揃えを行う。
 - ・売り逃しのないよう、カウンターフーズ、中食（おにぎり、弁当、サンドイッチ類）の発注数量を天気予報で予測し、売上と納品数量のバランスを取って廃棄率4%以下を継続して目指す。
- ② スタッフとのコミュニケーションツールとしてSNSを活用し、事業経営の円滑化を図るとともに、個々の能力を伸ばせるように工夫し、最盛期に向けて準備を整える。
- ③ ファミリーマート本部の取組。
 - ・ファミペイの更なる利用者拡大を目標とし、お得な情報の配信やメーカータイアップキャンペーンを実施して、自店の固定客の増加に努める。
 - ・プライベートブランドのファミマル商品について、高品質・低価格を目指した商品強化を図る。
 - ・賞味期限の迫った商品の値引き販売など、物価高の対応やSDGSの取り組みなど消費者の思考変化に対応した店舗運営を行っていく。

<レストラン・獅子銀>

- ① ランチタイムの更なる固定客の増加を目指すべく、SNSで日替わりランチメニューなどの情報配信を行い、集客を図る。
- ② ゴールデンウィーク、お盆や年始の繁忙期には通常メニューを減らして特別メニュー（原価率が高めでもお客様の目を引く料理）を展開して回転率を上げ、同時に単品メニューを増やして、客単価の増加を狙う。

夏季にはかき氷やうな重、冬季にはカキフライやぼたん鍋など期間限定メニューを展開して来店頻度を上げられるよう工夫する。

- ③ 本社所在地である丹波篠山産の食材使用を店内POPやSNSでPRして、団体客の誘致に繋げる。

<駅ラーメン・華(はな)>

- ① 毎年、学生アルバイトの退職があるため、退職者・入社者どちらもメリットがある紹介制度を設けて人材確保に努める。加えて平日に長期勤務できる方の募集について、当店独自の勤務条件を提示して、採用に繋げる。
- ② お客様へのサービス向上を目指すべく、スタッフ教育の強化として『挨拶・正確・迅速・笑顔・気配り』など基本的な接客について、スタッフによるバラつきがなく実行できるよう、曜日・時間を決めて定期的に研修教育を行う。
- ③ 厨房業務の一部をスタッフと共有し、混雑時にも安定して料理が提供できるよう工夫する。無駄な動きやロスを減らして回転率を上げられるよう、引き続き厨房機器の定期点検及び店舗の清掃に努める。

<アロマリラクゼーションサロン・もみの木HOUSE>

- ① 来店客の9割が既存顧客のため、お一人お一人の体の状態を管理して記録し、顧客に合わせた施術を提供して、客単価を上げられるよう工夫する。新規顧客の開拓として、引き続き既存顧客の紹介特典を実施する。
- ② 季節の変わり目に体調を崩されるケースが多いため、カウンセリングの時間を多めに取り、効果的な施術ができるように工夫する。さらに自宅でできるアロママッサージを紹介して、商品売上に繋げる。

<トータルボディメンテナンス・at rest>

- ① 新規顧客の開拓として、予約状況をSNSで随時発信、当日の空き時間案内のPOPをドアに掲示して新規の来店を促し、できるだけ空き時間がでないように工夫する。
- ② ボディ以外のヘッドや足つぼのオプションコースの見直しを行い、季節によってオイルやスプレーも変更して顧客の満足度を高められるよう働きかける。
- ③ 引き続き店内インテリア雑貨やアロマスプレーが好評のため、加東市内のイベントに委託販売として出品し、新規の来店に繋げていく。

<情報・休憩コーナー>

- ① 北播磨地域を中心に正確でタイムリーな情報を効率よく提供できるように工夫する。ポスター・チラシの優先順位を明確化し、常に整理整頓に努める。
- ② 地元加東市の求人情報コーナーの設置（継続）

- ③ マスク着用は個人判断になったものの、利用者が多いため、大声での会話を避け短時間での利用、アルコール飲料の禁止、充電禁止の啓発POPを配置し、安心して利用していただけるよう、予防の周知を図る。

3. 施設管理の計画

施設名	営業時間	定休日
特産館 (夢街人)	■ 4月～6月・9月・10月・3月 平日 午前9時～午後6時30分 土日祝 午前9時～午後7時 ■ 7月・8月 全日 午前9時～午後7時 ■ 11月・12月 全日 午前9時～午後6時30分 ■ 1・2月 全日 午前9時～午後6時	毎月第2月曜日 年末年始
農産物直売所 (コスモスの館)	「特産館」に準じる	「特産館」に準じる
コンビニエンスストア (ファミリーマート)	24時間	無休
レストラン (獅子銀)	午前9時～午後2時30分 午後5時～午後8時 (ラストオーダー 午後7時30分)	毎週月曜日 年末年始
レストラン (駅ラーメン 華)	午前11時～午後3時30分 午後5時30分～午後8時 (ラストオーダー 午後7時30分) ※毎週水曜 午後休	毎週木曜日 年末年始
アロマリラクゼーション (もみの木HOUSE)	午前10時～午後6時 (最終受付 午後4時)	毎週月曜日 年末年始
トータルボディメンテナンス (a t r e s t)	午後12時～午後9時 (最終受付 午後8時)	毎週火曜日 年末年始
情報・休憩室	24時間開放	無休
トイレ	24時間使用可 改修工事期間中は仮設トイレを設置 (工事予定期間：11月～3月)	無休

■勤務時間

- 特産館 : 午前8時45分～午後6時45分
(土日祝、7月、8月の午後7時閉店時は午後7時15分迄、
1、2月の午後6時閉店時は午後6時15分まで勤務。)
- 直売所 : 特産館に準じる。
- コンビニ : 午前6時00分～翌午前6時00分

■勤務体制

特産館（総務を含む）

社員（駅長、経理担当社員）、パート従業員のシフト表による1か月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。

直売所

社員（部長）、パート従業員のシフト表による1か月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。

コンビニ

社員（店長含む）、パート従業員のシフト表による1か月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。（※深夜勤務有り）

第26期収支計画

収入の部

支出の部

総合計					(単位:千円)				
項 目	R6年度計画	R5年度実績	差 額	前期比	項 目	R6年度計画	R5年度実績	差 額	前期比
売 上	326,710	312,732	13,978	104.5%	売上原価	222,845	214,087	8,758	104.1%
受取手数料	40,155	38,982	1,173	103.0%	人 件 費	79,610	75,764	3,846	105.1%
営業収入	3,350	3,336	14	100.4%	水光熱費	5,880	5,435	445	108.2%
管理委託収入	5,060	5,060	0	100.0%	一般管理費	61,320	59,795	1,525	102.6%
営業外収入	2,650	3,065	-415	86.5%	営業外費用	35	26	9	134.6%
合 計	377,925	363,175	14,750	104.1%	合 計	369,690	355,107	14,583	104.1%
					収支差額	8,235	8,068	167	102.1%

※収支差額：経常利益(税引前当期純利益) ※法人税等算入せず